



# Snapshotイメージの管理

## SANtricity software

NetApp  
August 22, 2025

# 目次

Snapshotイメージの管理	1
Snapshotイメージ設定の表示	1
ベースボリュームのSnapshotイメージのロールバックの開始	1
Snapshot整合性グループメンバーボリュームのSnapshotイメージのロールバックの開始	2
手順1：メンバーを選択します	3
手順2：容量を確認する	3
手順3：優先度を編集する	4
Snapshotイメージのロールバックの再開	4
Snapshotイメージのロールバックのキャンセル	5
Snapshotイメージの削除	5

# Snapshotイメージの管理

## Snapshotイメージ設定の表示

各Snapshotイメージに割り当てられているプロパティ、ステータス、リザーブ容量、および関連オブジェクトを表示できます。

### タスクの内容

Snapshotイメージの関連オブジェクトには、このSnapshotイメージがリストアポイントであるベースボリュームまたはSnapshot整合性グループ、関連するSnapshotグループ、およびSnapshotイメージから作成されたSnapshotボリュームが含まれます。Snapshotの設定を使用して、Snapshotイメージをコピーするか変換するかを決定します。

### 手順

1. メニューを選択します。Storage [Snapshots]。
2. スナップショットイメージ\*タブをクリックします。
3. 表示するSnapshotイメージを選択し、\* View Settings \*をクリックします。

スナップショットイメージ設定ダイアログボックスが表示されます。

4. Snapshotイメージの設定を確認します。

## ベースボリュームのSnapshotイメージのロールバックの開始

ロールバック処理を実行して、Snapshotイメージに保存されている内容と一致するようにベースボリュームの内容を変更できます。

ロールバック処理では、ベースボリュームに関連付けられているSnapshotイメージの内容は変更されません。

### 開始する前に

- ロールバック処理を開始するための十分なリザーブ容量があります。
- 選択したSnapshotイメージとボリュームがどちらも最適な状態である必要があります。
- 選択したボリュームですでに実行中のロールバック処理がないことを確認します。

### タスクの内容

ロールバックの開始手順では、ベースボリュームのSnapshotイメージに対してロールバックを開始すると同時に、ストレージ容量を追加することもできます。1つのベースボリュームに対して複数のロールバック処理を同時に開始することはできません。



ホストはロールバックされた新しいベースボリュームにすぐにアクセスできますが、ロールバックの開始後は既存のベースボリュームに読み取り/書き込みアクセスできません。リカバリ用にロールバック前のベースボリュームを保持するには、ロールバックを開始する直前にベースボリュームのSnapshotを作成します。

### 手順

1. メニューを選択します。Storage [Snapshots]。
2. 「\* Snapshot Images \*」 タブを選択します。
3. Snapshotイメージを選択し、メニューからロールバック[開始]を選択します。

ロールバックの開始の確認ダイアログボックスが表示されます。

4. \*オプション：\*必要に応じて、\*容量を増やす\*オプションを選択します。

リザーブ容量の拡張ダイアログボックスが表示されます。

- a. スピンボックスを使用して容量の割合を調整します。

選択したストレージオブジェクトを含むプールまたはボリュームグループに空き容量がなく、ストレージレイに未割り当て容量がある場合は、容量を追加できます。新しいプールまたはボリュームグループを作成し、そのプールまたはボリュームグループの新しい空き容量を使用してこの処理を再試行できます。

- b. [\* 拡大 (\*) ] をクリックします

5. この処理を実行することを確認し、\*ロールバック\*をクリックします。

## 結果

System Managerは次の処理を実行します。

- 選択したSnapshotイメージに保存された内容を使用してボリュームをリストアします。
- ホストからロールバックされたボリュームにすぐにアクセスできるようにします。ロールバック処理が完了するまで待つ必要はありません。

## 終了後

ロールバック処理の進捗状況を表示するには、MENU（ホーム）：[View Operations in Progress]（進行中の処理の表示）を選択します。

ロールバック処理が失敗すると、処理は一時停止します。一時停止した処理を再開できます。それでも失敗する場合は、Recovery Guruの手順に従って問題を解決するか、テクニカルサポートにお問い合わせください。

# Snapshot整合性グループメンバーボリュームのSnapshotイメージのロールバックの開始

ロールバック処理を実行して、Snapshotイメージに保存されている内容と一致するようにSnapshot整合性グループメンバーボリュームの内容を変更することができます。

ロールバック処理では、Snapshot整合性グループに関連付けられているSnapshotイメージの内容は変更されません。

## 開始する前に

- ロールバック処理を開始するための十分なリザーブ容量があります。
- 選択したSnapshotイメージとボリュームがどちらも最適な状態である必要があります。
- 選択したボリュームですでに実行中のロールバック処理がないことを確認します。

## タスクの内容

ロールバックの開始手順によって、Snapshot整合性グループのSnapshotイメージに対してロールバックが開始されます。このとき、ストレージ容量を追加することもできます。Snapshot整合性グループに対して複数のロールバック処理を同時に開始することはできません。



ホストはロールバックされた新しいボリュームにすぐにアクセスできますが、ロールバックの開始後は既存のメンバーボリュームに読み取り/書き込みアクセスできなくなります。リカバリ用にロールバック前のベースボリュームを保持するには、ロールバックを開始する直前にメンバーボリュームのSnapshotイメージを作成します。

Snapshot整合性グループのSnapshotイメージのロールバックを開始するプロセスは複数の手順で構成されます。

### 手順1：メンバーを選択します

ロールバックするメンバーボリュームを選択する必要があります。

#### 手順

1. メニューを選択します。Storage [Snapshots]。
2. 「\* Snapshot Images \*」タブを選択します。
3. Snapshot整合性グループのSnapshotイメージを選択し、メニュー：ロールバック[開始]を選択します。

ロールバックの開始ダイアログボックスが表示されます。

4. 1つ以上のメンバーボリュームを選択します。
5. 「次へ」をクリックして、次のいずれかの操作を行います。
  - 選択したいいずれかのメンバーボリュームが、Snapshotイメージを格納する複数のリザーブ容量オブジェクトに関連付けられている場合は、Review Capacity（容量の確認）ダイアログボックスが表示されます。にアクセスします。
  - 選択したメンバーボリュームのいずれも、Snapshotイメージを格納する複数のリザーブ容量オブジェクトに関連付けられていない場合は、優先度の編集ダイアログボックスが表示されます。にアクセスします。

### 手順2：容量を確認する

複数のリザーブ容量オブジェクト（Snapshotグループやリザーブ容量ボリュームなど）に関連付けられているメンバーボリュームを選択した場合は、ロールバックされたボリュームのリザーブ容量を確認して拡張できます。

#### 手順

1. 予約済み容量が非常に少ない（またはゼロの）メンバーボリュームの横にある\* Edit \*列で\*容量の増加\*リンクをクリックします。

リザーブ容量の拡張ダイアログボックスが表示されます。

2. スピンボックスを使用して容量の割合を調整し、\*増加\*をクリックします。

選択したストレージオブジェクトを含むプールまたはボリュームグループに空き容量がなく、ストレージ

アレイに未割り当て容量がある場合は、容量を追加できます。新しいプールまたはボリュームグループを作成し、そのプールまたはボリュームグループの新しい空き容量を使用してこの処理を再試行できます。

3. [次へ]\*をクリックし、に進みます[手順3：優先度を編集する]。

[優先度の編集]ダイアログボックスが表示されます。

### 手順3：優先度を編集する

必要に応じて、ロールバック処理の優先度を編集できます。

#### タスクの内容

ロールバックの優先度によって、システムパフォーマンスを犠牲にしてロールバック処理専用を使用するシステムリソースの数が決まります。

#### 手順

1. スライダを使用して、ロールバックの優先度を必要に応じて調整します。
2. この操作を実行することを確認し、[完了]をクリックします。

#### 結果

System Managerは次の処理を実行します。

- 選択したSnapshotイメージに保存されている内容を使用してSnapshot整合性グループのメンバーボリュームをリストアします。
- ホストからロールバックされたボリュームにすぐにアクセスできるようにします。ロールバック処理が完了するまで待つ必要はありません。

#### 終了後

ロールバック処理の進捗状況を表示するには、MENU（ホーム）：[View Operations in Progress]（進行中の処理の表示）を選択します。

ロールバック処理が失敗すると、処理は一時停止します。一時停止した処理を再開できます。それでも失敗する場合は、Recovery Guruの手順に従って問題を解決するか、テクニカルサポートにお問い合わせください。

## Snapshotイメージのロールバックの再開

Snapshotイメージのロールバック処理中にエラーが発生した場合は、処理が自動的に一時停止します。一時停止状態のロールバック処理を再開することができます。

#### 手順

1. メニューを選択します。Storage [Snapshots]。
2. スナップショットイメージ\*タブをクリックします。
3. 一時停止中のロールバックを強調表示し、メニューからロールバック[再開]を選択します。

処理が再開されます。

#### 結果

System Managerは次の処理を実行します。

- ロールバック処理が正常に再開された場合は、Operations in Progressウィンドウでロールバック処理の進捗状況を確認できます。
- ロールバック処理が失敗すると、処理は再び一時停止します。Recovery Guruの手順に従って問題を修正するか、テクニカルサポートにお問い合わせください。

## Snapshotイメージのロールバックのキャンセル

進行中のアクティブなロールバック（データのアクティブなコピー）、保留中のロールバック（リソースの開始を待機している保留キュー内）、またはエラーによって一時停止されたロールバックをキャンセルできます。

### タスクの内容

実行中のロールバック処理をキャンセルすると、ベースボリュームは使用できない状態に戻り、「失敗」と表示されます。したがって、ベースボリュームの内容をリストアするためのリカバリオプションがある場合にのみロールバック処理をキャンセルすることを検討してください。



Snapshotグループに含まれている1つ以上のSnapshotイメージが自動的にパージされた場合は、ロールバック処理に使用されるSnapshotイメージを今後のロールバックで使用できなくなる可能性があります。

### 手順

1. メニューを選択します。Storage [Snapshots]。
2. スナップショットイメージ\*タブをクリックします。
3. アクティブまたは一時停止中のロールバックを選択し、メニューからロールバック[キャンセル]を選択します。

[ロールバックのキャンセルの確認]ダイアログボックスが表示されます。

4. 「\* はい \*」をクリックして確定します。

### 結果

System Managerがロールバック処理を停止します。ベースボリュームは使用可能ですが、データに整合性がないか完全でない可能性があります。

### 終了後

ロールバック処理をキャンセルしたら、次のいずれかの操作を実行する必要があります。

- ベースボリュームの内容を再初期化します。
- 新しいロールバック処理を実行して、ロールバックのキャンセル処理と同じSnapshotイメージまたは別のSnapshotイメージを使用してベースボリュームをリストアします。

## Snapshotイメージの削除

Snapshotイメージの削除は、SnapshotグループまたはSnapshot整合性グループから最

も古いSnapshotイメージをクリーンアップする場合に行います。

#### タスクの内容

Snapshotイメージは1つだけ削除することも、作成時のタイムスタンプが同じSnapshotイメージをSnapshot整合性グループから削除することもできます。SnapshotグループからSnapshotイメージを削除することもできます。

関連付けられているベースボリュームまたはSnapshot整合性グループの最も古いSnapshotイメージでないSnapshotイメージは削除できません。

#### 手順

1. メニューを選択します。Storage [Snapshots]。
2. スナップショットイメージ\*タブをクリックします。
3. 削除するSnapshotイメージを選択し、処理を確定します。

Snapshot整合性グループのSnapshotイメージを選択した場合は、削除する各メンバーボリュームを選択し、処理を確定します。

4. [ 削除 ( Delete ) ] をクリックします。

#### 結果

System Managerは次の処理を実行します。

- ストレージレイからSnapshotイメージを削除します。
- SnapshotグループまたはSnapshot整合性グループ内で再利用できるようにリザーブ容量が解放されます。
- 削除したSnapshotイメージに関連付けられていたSnapshotボリュームがすべて無効化されます。
- Snapshot整合性グループから削除すると、削除されたSnapshotイメージに関連付けられているメンバーボリュームが停止状態になります。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。